

棟方志功記念館の 利活用について

令和7年11月12日

棟方志功記念館建物利活用意見聴取会議資料

1 棟方志功記念館の開館から閉館に至る経緯

- 昭和45年10月 竹内俊吉青森県知事（当時）が棟方志功記念館建設構想を発表
 - 昭和49年 9月 棟方志功記念館 着工
 - 昭和50年 8月 棟方志功記念館 竣工
(昭和50年 9月 棟方志功画伯死去)
 - 昭和50年11月 棟方志功記念館 開館
- ～ ～ ～ ～
- 令和4年 6月 一般財団法人棟方志功記念館が記念館の閉館を発表
新型コロナウイルス感染症の影響による来館者数の落ち込みや、建物の老朽化などが理由
 - 令和6年 3月 棟方志功記念館 閉館
(令和6年 7月 青森県立美術展示館において展示スペースの拡張展示を開始)



棟方志功記念館 外観

2 棟方志功サミット（R5）での意見

- 令和5年9月17日（日）に開催した「棟方志功生誕120年記念 棟方志功サミット in 青森」の座談会において、棟方志功記念館に関して次のような発言があった。
- 石井 賴子氏（棟方志功研究家・画伯の御令孫）
彼（棟方志功）が考えたのは、森のような庭がある、ヒバがあつたりポプラがあつたり、そういう所に小さなベンチが2つ3つあるような、そういう所が自分の記念館にはふさわしい。そこに皆さんのが集っていただけたら、きっと彼にとってはうれしいことなんじゃないかなと思う。
- 杉本 康雄氏（青森県立美術館館長（当時））
庭を上手に活用しながら、子どもが集まってワークショップをしながら、あるいは遊びながら描けるとか、そういうアートに親しむような場所になればいいなというのが私の気持ちとして一つある。



棟方志功生誕120年記念
棟方志功サミット in 青森

3 「松原地区のまちづくりビジョン」における整理

- 青森市教育委員会では、本市の文化・社会教育施設が集積する松原地区において、コミュニティ拠点機能の強化も含め、現状を整理し、市民等のニーズを踏まえた施設再整備の方向性を示すため、令和7年3月に「松原地区のまちづくりビジョン」を策定
- 「松原地区のまちづくりビジョン」では、棟方志功記念館について、青森ゆかりの文化・芸術家の業績を学び、版画を含めた文化芸術の体験学習ができる施設として活用することを検討することとしている
- 施設整備において必要となること（抜粋）
 - ・棟方志功記念館の建物、施設・設備は、可能な範囲において改修することによる長寿命化、バリアフリー化が必要となります。
 - ・市民のみならず県内外から訪れた方も楽しめる施設となるよう、棟方志功を感じることができる版画体験や、青森を代表するねぶたの技法に通じる灯篭づくりなど、青森ゆかりの文化・芸術家を感じられるような体験コンテンツの充実を図ることが必要となります。



4 建物調査の結果等について

○令和6年度に建物現況調査を実施。

- ・躯体の老朽化に加え、多くの設備機器が更新時期を過ぎていること
 - ・展示室の天井等にアスベストが確認されたこと
 - ・バリアフリー対応トイレが設置されていないこと
 - ・冬季間の車椅子通路が確保されていないこと
- など対応が必要。



機械室

○利活用に当たって、建築基準法、消防法について確認。

- ・棟方志功記念館は築50年と古く、建物の用途変更や大規模な増改築を行うことは困難であることを確認。



展示室

○棟方志功記念館の利活用については

建築基準法や、消防法において大規模な改修とならない範囲において、バリアフリー化などの工事を行い、「美術館」としての用途で活用することが必要。

5 青森商工会議所からの要望書

○令和 7年 7月 青森市に提出



要望書手交式の様子

<要望書の内容（抜粋）>

- 1 旧棟方志功記念館を棟方志功画伯の顕彰施設として再生すること
修復・修繕を行って棟方志功画伯の画業を顕彰する施設として速やかに再開館していただきたい。
- 2 旧棟方志功記念館の利活用に関する再生計画策定の促進
青森市は青森県と協力して速やかに再生計画を策定していただきたい。
- 3 顕彰施設としての活用方法に関する取り組みの促進
子供たちが棟方志功画伯の優れた作品に触れ、自ら版画制作に勤しむ場となり、また、全国の棟方志功ファンが集い、青森市民との交流を通じて「聖地」を体感できる施設となるよう、再生後の利用計画を速やかに策定していただきたい。

6 これまでの取り組みの整理

○令和5年度

- ・9月17日 棟方志功生誕120年記念 棟方志功サミット in 青森
- ・11月4日～5日 松原地区のまちづくりビジョンに係る市民ワークショップ



棟方志功没後50年記念展
青森の子 世界のムナカタ

○令和6年度

- ・5月～12月 棟方志功記念館建物現況調査
- ・令和7年3月 松原地区のまちづくりビジョン策定

○令和7年度

- ・7月19日～11月3日 棟方志功没後50年記念展 青森の子 世界のムナカタ
- ・7月 棟方志功を学ぶ「青森の子 世界のムナカタ」指導資料集
- ・7月～8月 中学生鑑賞サポートボランティア実施
- ・9月7日 棟方志功没後50年記念 棟方志功サミット in 青森



棟方志功を学ぶ
「青森の子 世界のムナカタ」
指導資料集



棟方志功没後50年記念
棟方志功サミット in 青森

○令和8年度～

- ・棟方志功記念館改修に係る設計等（予定）

7 棟方志功記念館の利活用に向けた方向性

ハード面

- アスベスト除去が必要
- トイレや階段等のバリアフリー化が必要
- 施設の改修（長寿命化）が必要



展示室



バリアフリートイレ例
(JR青森駅東口ビル4F)



雪に埋もれるバリアフリー経路



ワークショップ例
(棟方志功没後50年記念展)

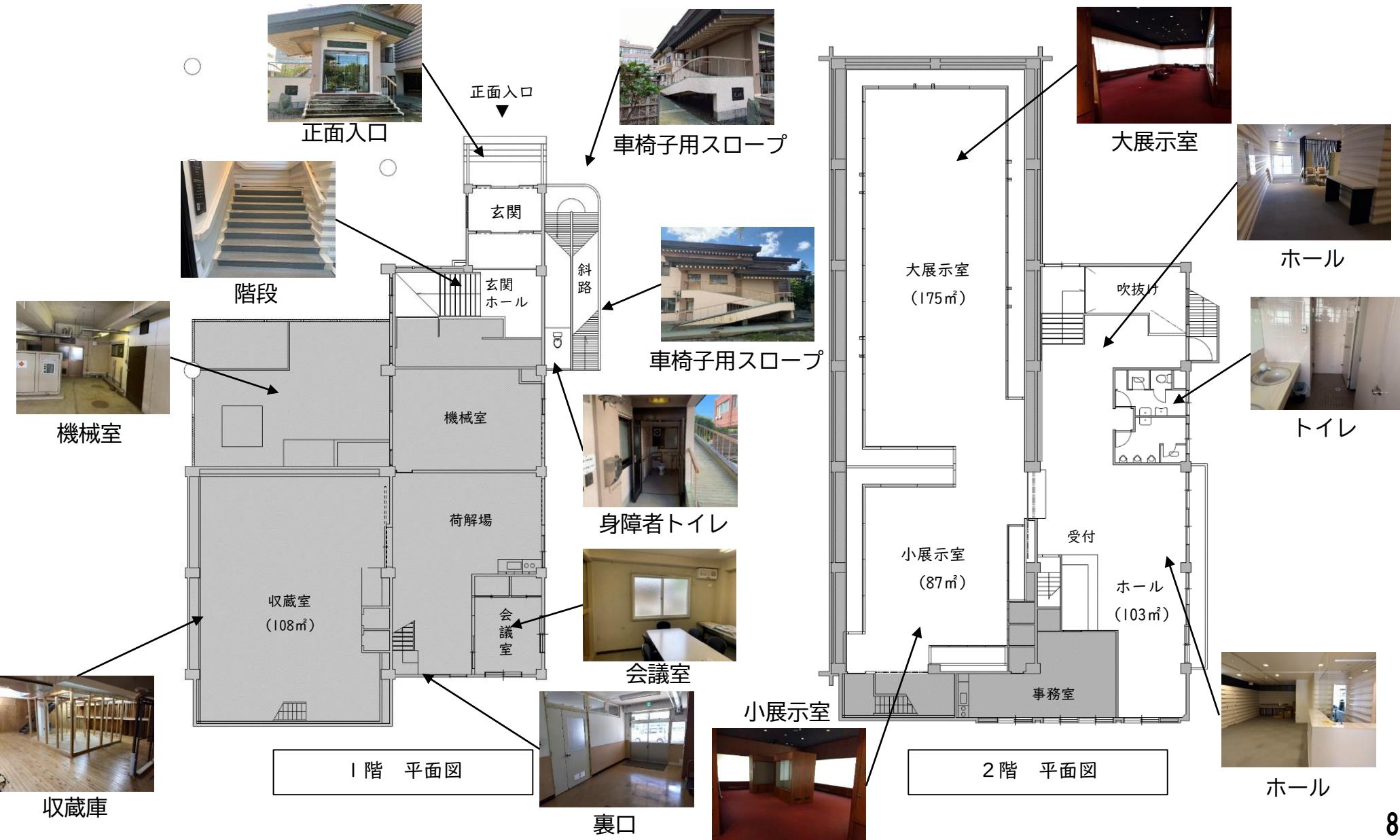


棟方志功記念館 庭園

ソフト面

- 美術館としての活用（作品展示等）の検討が必要
- ワークショップ環境確保（版画制作体験等）の検討が必要
- 庭園の有効活用の検討が必要

<参考> 棟方志功記念館 平面図



<参考> 棟方志功記念館庭園 平面図



池



入口付近



通路



通路